

【代表的な研究テーマ】

□ 高齢社会におけるリビングラボの実践

□ シニア向け製品・サービスのユーザ中心設計と評価

キーワード：高齢社会、高齢者対応、リビングラボ、アクティブシニア

研究の概要

- ・須藤研究室では、「静岡アクティブシニアラボ」を開設しています。
- ・アクティブシニアラボは、製品・サービスの開発過程に対して企画段階から評価まで一般的な消費者・市民であるシニアユーザが積極的に参加し、消費者・市民・開発側・研究者が協働したユーザ中心設計を実施するLiving Lab(リビングラボ)です。
- ・平成29年度末時点で、100人弱のアクティブな静岡地域のシニアメンバーの方々にメンバー登録していただいています。
- ・当研究室では、リビング・ラボの構成員と共に、
 - ・高齢者のみなさんと一緒に新しいシニア向け製品・サービスの企画
 - ・シニア向け製品・サービスのよりリアルな日常場面で評価研究
 - ・加齢について基礎的なテーマ(認知、注意等)を研究
 - ・シニア向けの観光地のデザインの評価

などを実施しています。



社会連携へ向けたアピールポイント

- ・高齢社会の進展と共に、製品・サービスの開発、公共サービスの立案の際には、利用するシニアユーザの視点が重要になっています。アクティブシニアラボのメンバーと共に、シニア視点で、企画、開発、評価を実施し、誰にとっても使いやすい製品・サービスを目指しませんか？
- ・研究代表者(須藤)は、これまでBtoB系メーカ様、情報通信系メーカ様との共同研究実績がございます。近年は、高齢者のデジタル活用に関わる講演会等の実績がございます。
- ・超高齢社会でのデジタル活用、高齢者対応にご興味のある企業様、公共団体様のご連絡をお待ちしております。
- ・静岡アクティブシニアラボ Webサイト <https://sites.google.com/view/shizuokaactlab>

■ その他の社会連携活動

- ・高齢者向け製品、サービスの開発・評価研究
- ・シニア視点の地域活性化…観光地のシニア対応、高齢者サービスのシニア対応
- ・静岡市街地の活性化に関わる社会連携



須藤 智

学術院グローバル共創科学領域
准教授

■ 相談に応じられる関連分野

- ・企業におけるユーザ中心設計に関わる研修会での講演
- ・行政における高齢者対応に関わる講演

